



安全データシート

Page 1 of 18

多用途補修パテ プチ

SDS No. : 205819

V001.3

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 15. 04. 2025

発行日: 19. 05. 2025

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 1717662
製品名 : 多用途補修パテ プチ
推奨される用途 : エポキシ接着剤

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
皮膚刺激	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 急性	区分 2
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

多用途補修パテ プチ

ヘンケルジャパン株式会社

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H412 長期継続的影響により水生生物に有害。
安全対策	粉じんの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物／容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

危険有害成分及び濃度

成分 CAS-No.	wt%	GHS分類
---------------	-----	-------

多用途補修パテ プチ

ヘンケルジャパン株式会社

硫酸カルシウム 10101-41-4	>= 50 - < 60 %	
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ リ [オキシ (メチルエチレン)] と ペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3 -スルファニルプロピル=エーテ ル 72244-98-5	>= 10 - < 20 %	皮膚感作性 1B H317 水生環境有害性 短期 (急性) 3 H402 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412
タルク 14807-96-6	>= 10 - < 20 %	
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 25068-38-6	>= 5 - < 10 %	皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2 H319 皮膚感作性 1 H317 水生環境有害性 短期 (急性) 2 H401 水生環境有害性 長期 (慢性) 2 H411
酸化チタン (IV) 13463-67-7	>= 1 - < 10 %	
ポリプロピレングリコールジグリ シジルエーテル 26142-30-3	>= 0.25 - < 1 %	皮膚刺激 2 H315 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 2 H319 皮膚感作性 1 H317 水生環境有害性 長期 (慢性) 3 H412
ビスフェノール F 型エポキシ樹脂 9003-36-5	>= 0.25 - < 1 %	皮膚刺激 2 H315 皮膚感作性 1A H317 水生環境有害性 短期 (急性) 2 H401 水生環境有害性 長期 (慢性) 2 H411

労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

4. 応急処置

- 皮膚にかかった場合：** 流水と石けんでよく洗い流すこと。保湿クリームを塗ること。汚染された衣類を全て着替えること。必要な場合は皮膚科医の診察を受けること。
- 眼に入った場合：** 直ちに流水あるいは、すすぎ液で最低5分間、眼を洗い流す。痛み (激しい痛み、光への過敏、視力障害) が残る場合、洗浄を続け、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合：** 口やのどをすすぐ。コップに1~2杯の水を飲む。医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：** 空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧

ヘンケルジャパン株式会社

使ってはならない消火剤: 高圧水噴射

消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置: 保護具を着用すること。
自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 皮膚や眼に触れないようにすること。
保護具を着用すること。
十分な換気を保つこと。

環境に対する注意事項: 下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材: 物理的に除去する。
13項に基づいて汚染された製品を廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
安全取扱い注意事項: 作業場が適切に換気されていることを確かめる。
皮膚や眼に触れないようにすること。

保管:
安全な保管条件:
他の容器に移し替えないこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。
5° C ~ 30° Cの温度。
熱および直射日光を避けること。

保管:
安全な保管条件:
他の容器に移し替えないこと。
容器をしっかり密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本 許容濃度等

JPISHL OEL
安衛法：作業環境評価基準で定める管理濃度

JPJ50H OEL
日本産業衛生学会：許容濃度

JP NOEL
安衛法：化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）

ヘンケルジャパン株式会社

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
硫酸カルシウム [土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
硫酸カルシウム		2	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
硫酸カルシウム		8	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
タルク [タルク (滑石) 石綿繊維含有製品 (総粉塵)]		4	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
タルク [タルク (滑石) 石綿繊維, 結晶質シリカを含まず (吸入性粉塵)]		1	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
酸化チタン (IV) [土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
酸化チタン (IV)		1.5	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
酸化チタン (IV)		0.3	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
酸化チタン (IV)		2	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度
参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
硫酸カルシウム		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
タルク		2	時間加重平均 (TWA) :	この値はアスベストを含まず結晶質シリカが<1%の粒子状物質に対する値である。	ACGIH
酸化チタン (IV)		0.2	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
酸化チタン (IV)		2.5	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

設備対策: しっかりした換気/排気を確保すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	固体	色:	青, 白青, 白
pH:	データ無し, 混合物は (水に) 不溶	臭い:	特異的な特徴的な
沸点:	> 200 °C (> 392 °F) データ無し	融点:	< -20 °C (< -4 °F) データ無し
蒸気密度:	該当なし, 製品は固形である。	密度:	1.77 g/cm ³ 1.7 - 1.9 g/cm ³
引火点:	該当なし	蒸気圧:	データ無し/対象外

ヘンケルジャパン株式会社

爆発範囲（下限）:	データ無し/対象外	爆発範囲（上限）:	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	データ無し/対象外
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	製品は不燃性である。
オクタノール/水分配係数	データ無し/対象外	分解温度:	> 375 ° C
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性:

アルコール及びアミンと反応する。
酸化剤、酸及びアルカリと反応する。
いくつかの硬化剤による大量の反応は急激な発熱を伴う暴走反応を起こす恐れがある。

**化学的安定性:
避けるべき条件**

推奨保存状態下では安定している。
意図された目的に使用される場合は、無し

危険有害な分解生成物:

不明

11. 有害性情報

一般毒性情報: 他のエポキシド化合物との交差反応の可能性がある。
エポキシドのアレルギーを患っている人は、製品との接触を避けること。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
硫酸カルシウム	LD50	10,000 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピルエーテル	LD50	2,600 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
タルク	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 423 (Acute Oral toxicity)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 420 (Acute Oral Toxicity)
酸化チタン (IV)	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 425 (Acute Oral Toxicity: Up-and-Down Procedure)
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	LD50	> 4,000 mg/kg	ラット	指定されていません
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)

急性毒性（経皮）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピルエーテル	LD50	> 10,200 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
タルク	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
酸化チタン (IV)	LD50	\geq 10,000 mg/kg	hamster	指定されていません
ポリプロピレングリコールジグリシジルエーテル	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	LD50	> 2,000 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
タルク	LC50	> 2.1 mg/l	粉じん及びミスト	4 h	ラット	OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity)
酸化チタン（IV）	LC50	> 6.82 mg/l	粉塵	4 h	ラット	指定されていません

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
タルク	slightly irritating	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	刺激性			Weight of evidence
酸化チタン（IV）	刺激性なし	4 h	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	刺激性	4 h	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
タルク	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	刺激性			Weight of evidence
酸化チタン（IV）	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

多用途補修パテ プチ

ヘンケルジャパン株式会社

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
硫酸カルシウム	not sensitising	Buehler test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピルエーテル	Sub-Category 1B (sensitising)	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
タルク	not sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
酸化チタン (IV)	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	Sub-Category 1A (sensitising)	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目/管理経路	代謝活性化/ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
硫酸カルシウム	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
タルク	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		equivalent or similar to OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
タルク	陰性	in vitro mammalian cell transformation assay	without		equivalent or similar to OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 472 (Genetic Toxicology: Escherichia coli, Reverse Mutation Assay)
酸化チタン (IV)	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
酸化チタン (IV)	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
酸化チタン (IV)	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	陽性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
硫酸カルシウム	陰性	oral: feed		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
タルク	陰性	oral: gavage		ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 478 (Genetic Toxicology: Rodent Dominant Lethal Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	陰性	oral: gavage		マウス	指定されていません
酸化チタン (IV)	陰性	oral: gavage		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	陰性	oral: gavage		マウス	OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	陰性	oral: gavage		ラット	OECD Guideline 486 (Unscheduled DNA Synthesis (UDS) Test with Mammalian Liver Cells in vivo)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	not carcinogenic	皮膚	2 y daily	マウス	male	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	not carcinogenic	oral: gavage	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)
酸化チタン (IV)	not carcinogenic	inhalation	24 m 6 h/d; 5 d/w	ラット	male/female	OECD Guideline 453 (Combined Chronic Toxicity / Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
硫酸カルシウム	NOAEL P 1,000 mg/kg NOAEL F1 1,000 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
タルク	NOAEL P > 900 mg/kg NOAEL F1 > 900 mg/kg	two-generation study	oral: gavage	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOAEL P >= 50 mg/kg NOAEL F1 >= 750 mg/kg NOAEL F2 >= 750 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)
酸化チタン (IV)	NOAEL P > 1,000 mg/kg NOAEL F1 > 1,000 mg/kg		oral: gavage	ラット	OECD Guideline 421 (Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	NOAEL P > 750 mg/kg NOAEL F1 750 mg/kg NOAEL F2 750 mg/kg	two-generation study	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露):

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間 / 処理 頻度	種	試験方法
硫酸カルシウム	NOAEL 100 mg/kg	oral: gavage	35-45 d daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
タルク	NOAEL 100 mg/kg	oral: feed	101 d 7 d/w	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 452 (Chronic Toxicity Studies)
ビスフェノールA型エポ キシ樹脂	NOAEL 50 mg/kg	oral: gavage	14 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
酸化チタン (IV)	NOAEL 1,000 mg/kg	oral: gavage	90 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)
ビスフェノールF型エポ キシ樹脂	NOAEL 250 mg/kg	oral: gavage	13 w daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	LC50	> 100 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	LC50	87 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
タルク	LC50	Toxicity > Water solubility	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	LC50	1.75 mg/l	96 h	Oncorhynchus mykiss	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
酸化チタン (IV)	LC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Danio rerio	other guideline:
酸化チタン (IV)	NOEC	Toxicity > Water solubility	8 d	Danio rerio	OECD Guideline 212 (Fish, Short-term Toxicity Test on Embryo and Sac-Fry Stages)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	LC50	5.7 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	EC50	> 100 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	EC50	12 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	EC50	1.7 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
酸化チタン (IV)	EC50	Toxicity > Water solubility	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	EC50	2.55 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

ヘンケルジャパン株式会社

					Immobilisation Test)
--	--	--	--	--	----------------------

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	NOEC	3.5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	NOEC	0.3 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	NOEC	0.3 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性 (藻類):

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	EC50	> 100 mg/l	72 h	Selenastrum capricornutum (new name: Pseudokirchneriella subcapitata)	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロ キシポリ [オキシ (メチル エチレン)] とペンタエリ トリトールのエーテル (4 : 1) の2-ヒドロ キシ-3-スルファニルブ ロピル=エーテル	EC50	> 733 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロ キシポリ [オキシ (メチル エチレン)] とペンタエリ トリトールのエーテル (4 : 1) の2-ヒドロ キシ-3-スルファニルブ ロピル=エーテル	NOEC	338 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ビスフェノールA型エポキ シ樹脂	EC50	> 11 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ビスフェノールA型エポキ シ樹脂	NOEC	4.2 mg/l	72 h	Scenedesmus capricornutum	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酸化チタン (IV)	EC50	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
酸化チタン (IV)	NOEC	Toxicity > Water solubility	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
ビスフェノールF型エポキ シ樹脂	EC50	1.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
硫酸カルシウム	EC0	Toxicity > Water solubility	30 min	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 27 (Bacterial oxygen consumption test)
(α -ヒドロ- ω -ヒドロ キシポリ [オキシ (メチル エチレン)] とペンタエリ トリトールのエーテル (4 : 1) の2-ヒドロ キシ-3-スルファニルブ ロピル=エーテル	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
ビスフェノールA型エポキ シ樹脂	IC50	> 100 mg/l	3 h	activated sludge, industrial	other guideline:
酸化チタン (IV)	EC50	Toxicity > Water solubility	3 h	activated sludge	ISO 8192 (Test for Inhibition of Oxygen Consumption by Activated Sludge)
ビスフェノールF型エポキ シ樹脂	IC50	> 100 mg/l	3 h	activated sludge, industrial	other guideline:

12.2. 残留性と分解性

ヘンケルジャパン株式会社

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 F (Ready Biodegradability: Manometric Respirometry Test)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	容易に生分解されていません。	aerobic	0 %	28 d	OECD Guideline 301 D (Ready Biodegradability: Closed Bottle Test)

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壤中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
(α -ヒドロ- ω -ヒドロキシポリ [オキシ (メチルエチレン)] とペンタエリトリトールのエーテル (4 : 1)) の2-ヒドロキシ-3-スルファニルプロピル=エーテル	1.2	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
タルク	-9.4	25 ° C	QSAR (Quantitative Structure Activity Relationship)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	3.242	25 ° C	EU Method A.8 (Partition Coefficient)
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	2.7 - 3.6		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 廃棄物や残渣は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: リサイクルはパッケージを完全に空にしてから行う。

14. 輸送上の注意

ヘンケルジャパン株式会社

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:
危険物には該当しない。

国内輸送規制:

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を通知すべき有害物	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 酸化チタン (I V)
名称等を表示すべき有害物	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 酸化チタン (I V)
特定化学物質第 1 類物質	該当なし
特定化学物質第 2 類物質	該当なし
特定化学物質第 3 類物質	該当なし
特定化学物質特別管理物質	該当なし
第 1 種有機溶剤等	該当なし
第 2 種有機溶剤等	該当なし
第 3 種有機溶剤等	該当なし
変異原性が認められた既存化学物質	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂
変異原性が認められた届出物質	該当なし
がん原性物質 (ISHL 第 57-1、57-2 および 57-3 条、施行規則条項 第 577-2-3 条)	該当なし
皮膚等障害化学物質等	ビスフェノール A 型エポキシ樹脂

消防法 該当しない

毒物及び劇物取締法： 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)：(含
有率表示は代表値)
(含有率単位が % の場合 %0=1/10%) 該当しない

16. その他の情報

発行日： 19. 05. 2025

ヘンケルジャパン株式会社

注意:

この安全性データシートは日本産業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。